# 市政を問う！

令和６年第４回定例会、令和７年第１回定例会

## 議案質疑・一般質問

■ 会派名　■ 名前　■所属する常任委員会

※枠内の内容は各議員が作成した原稿をもとに掲載しています。

桑名市議会議長
フォーラム新桑名
愛敬　重之

桑名市議会副議長
絆
森下　幸泰

議長・副議長の２名につきましては、議会の運営を円滑に進めるため、より公平・公正な立場を尊重し、一般質問並びに議案質疑などは自粛させていただいております。

---

公明党桑名市議員団　インターネット中継

**森　英一**　都市経済委員会

**■認知症検査を充実化する考えは**

**Q.非対面式で手軽に受検でき、検査時間が大幅に短縮できるVRでの脳の健康チェックを、予防の取り組みとして普及できないか。**

A.従来の対面法と比較して好評を得ているとお伺いしており、有効な検査手段の一つであると認識している。有効な方法を検討していく。

**■充電式小型家電の回収率向上に向けた取組は**

**Q.桑名市単体としても行政回収の両面として、先の事故リスク含め、回収ボックスを各まちづくり拠点にてチェックしやすくし、広げて頂ければと考えるがどうか。**

A.火災は全国の廃棄物処理施設においても多数発生しており、処理施設に多額の損害が発生し、市民の生活に直結する廃棄物収集業務にも影響が及んでいると認識している。発火の危険性や管理回収費用の増加、不法投棄の増加などを考慮し新たな回収方法も含め、本市でできる得る対策を慎重に検討していく。

---

公明党桑名市議員団　インターネット中継

**畑　紀子**　教育福祉委員会

**■女性のウェルビーイング推進事業について**

**Q.今まで見過ごされてきた女性のこころとカラダの不調に市民だけでなく企業や専門家、学生等が「ALL　KUWANA」でそれぞれの悩みに向き合い、生き生き輝けるまちづくりを行う目的でラボを立ち上げるとのことだが「こころ・カラダラボ」の具体的内容とこの事業が今後どのように展開していくのか問う。**

A.「こころ・カラダラボ」では、様々な立場の方から意見を伺う“声を聴く場”と実際に事業者と一緒に企画実施する“実践の場”が連携し、女性の不調についての正しい理解と体調改善に繋がる事例等を市民に伝えていく。今後は、様々な女性がおかれている立場や体調での悩みが少しでも解消できればと考える。国においても昨年「女性の健康総合センター」が設置されたことを注視し、連携も視野に入れながら、あらゆる女性が輝き、ウェルビーイングが感じられ、女性のこころとカラダについて社会の理解が深まり「誰ひとり取り残さない社会」になるよう進めていく。

---

未来　インターネット中継

**藤本　直子**　都市経済委員会

**■高齢者のヘルスケアの充実化について**

**Q.フットケアの普及に向けた取り組みは？**

A.健康寿命を延ばすことにフットケアは有効であることから、今後通いの場や健康・ケア教室等のプログラムの一つとしての普及や、市ホームページ等でも周知啓発を行っていく。

**■AEDの普及促進について**

**Q.AED設置に対し補助金を支給する考えは？**

A.現在、地域の自主防災組織に対して購入費用の一部を補助している。またイベント等では無料貸出も行っている。今後施設の利用時やスポーツ大会、イベント開催時にはAEDの設置場所や使用方法、無料貸出の周知啓発に努めていく。

**■子どもの健やかな成長を見守り支える体制の整備について**

**Q.SNSを活用した子ども用「悩み相談アプリ」を導入する考えは？**

A.市独自のSNSを活用しての相談は今後施行される「桑名市こどもの権利条例」の施策の中で検討していく。

---

未来　インターネット中継

**伊藤　知美**　総務安全委員会

**■より良い教育を実現するための教職員の環境改善について**

**Q.若手教師へのサポート体制を充実化する考えは？**

A.現在、教育委員会指導主事による指導・助言や教職員のニーズに応じた研修の機会を設けている。小学校では、複数の教員が協力して対応に臨めるチーム担任制や教科担任制を推進し、若手教職員が一人で抱え込む事のないようにしている。今後もサポート体制の充実に努め、教職員がいきいきと子どもと接することができるよう支援していく。

**■桑名市部活動サポート事業費について**

**Q.指導者研修の内容は？**

A.安全上必要となる知識や、ハラスメントの防止、最新の理論に基づく指導法についての研修を実施する予定。具体的な内容は、包括連携協定を結んでいる一般社団法人アスリートキャリアセンターと連携を取りながら構築している。研修を受けた指導者の指導が生徒や保護者からの信頼･安心につながるよう研究を進めていく。

---

未来　インターネット中継

**水谷　憲治**　総務安全委員会

**■災害時孤立集落の現状と今後の対応について**

**Q.市内の予想集落の有無と予防及び対応対策は？**

A.市内には予想集落は無いと想定されているが、令和７年度末迄に県から新たな被害想定の結果が公表され、これを踏まえて地域防災計画や防災施策への対応を検討する。地域や個人での備蓄の拡充等孤立に強い集落づくりが重要で、その啓発にも努める。

**■タバコを取り巻く昨今の環境問題の現状と今後の対応について**

**Q.路上喫煙禁止区域を拡大する考えは？**

A.路上喫煙防止に関する条例の目的は受動喫煙による健康被害を防止する事であり市内全域において努力義務としている。一方財政面でたばこ税は市にとって貴重な税収の1つである。望まない受動喫煙による健康被害防止の為、喫煙者は社会のルールやマナーを守り吸う方吸わない方双方が暮らしやすいまちになる様、啓発活動やパトロール活動を実施するとともに路上喫煙禁止区域の拡大についても関係部署と連携し継続して検討する。

---

未来　インターネット中継

**近藤　浩**　総務安全委員会

**■「安心と夢のある未来を拓く成長予算」について**

**Q.予算編成に込められたまちづくりへの思いは？**

A.桑名市を「安心」と「夢」があふれる、あらゆる世代、世界中の皆さんからも「選ばれるまち」として、さらに成長・発展させたいとの強い思いで、令和7年度予算の編成を行った。

**■「公共施設マネジメント」の推進について**

**Q.老朽化する都市基盤(公共インフラ)の維持管理方針は？**

A.道路等の施設に不都合が生じる前に対策を行う「予防保全」を実施し、維持管理・更新費等の縮減を図ることが重要である。今後も、施設の長寿命化を図りつつ、適正な維持管理に努めていく。

**■誰一人取り残さない社会の実現について**

**Q.女性の「ウェルビーイング」推進は？**

A.女性特有の不調に対する社会の理解を促進する施策を推進し、すべての女性が自分らしく輝き、幸せを実感できるまちづくりを進めることで「誰一人取り残さない社会」の実現をめざしていく。

---

絆　インターネット中継

**倉田　明子**　総務安全委員会

**■時代の変化に対応した行政の変革について**

**Q.公共施設の再編とマネジメントの考え方を問う**

A.行政サービスのＤＸ化が加速していく中では公共施設の在り方そのものを大きく見直し変化させる必要がある。ＤＸ活用の「リモート窓口」の設置、その先の「行かない窓口」の実現を目指している。公共施設の集約化・多機能化を推進し、市が目指すスマートシティの実現に資する、マネジメントを推進していく。

**■誰一人取り残さない社会の実現について**

**Q.孤独・孤立への支援策を問う**

A.「孤独・孤立」問題に関係する部署の担当者でプロジェクト会議を開催し、高齢者や一人親、外国人等の「属性」、ひきこもりや生活困窮等の「状態像」、小中学校から高校そして社会に出るといった「生活ステージの変化」、資産はあるが地域との交流がない高齢者等、特徴に応じた支援の必要性を共有した。今後は分野横断的な切れ目のない支援に向けて連携と協力体制づくりを進めていく。

---

絆　インターネット中継

**太田　誠**　教育福祉委員会

**■多度地区以外の小中学校再編計画策定事業について**

**Q.小中学校再編計画策定までの具体的なスケジュールは？**

A.整備候補地や学校区割案について、令和７年４月以降、地域への説明会を実施したい。この説明会でいただいた意見を踏まえ再編計画の素案作成を進める。素案を議会に報告し、パブリックコメントを実施。最終調整を経て令和８年３月に計画公表を目指す。

**■建設中の福豊排水機場の停電時の対応について**

**Q.口径1,200mmのエンジンポンプが無くなるが停電時の対応は？**

A.停電時は、口径900mmのモーターポンプのうち1台と除塵機などに、電力供給ができる発電機を設置する予定。もう1台のポンプについては、移動式発動発電機を設置して電力供給ができるよう事業期間内に給電方法等を検討し、豪雨、台風時の停電に備え、排水ポンプの運転が可能となるよう進めていく。

**Q.900㎜ポンプ1台では、約１㎥/秒の能力不足となるが大丈夫か？**

A.今後、対策方法等について検討し、湛水被害の防止に努める。

---

絆　インターネット中継

**南澤　幸美**　教育福祉委員会

**■多度学園について**

**Q.市への引渡後から開校までの対応について**

A.引渡しを受けた後は、新校舎の竣工式典を計画している。

また、多度地域の皆様のみならず、多度地域以外の市民の皆様にご参加いただき、完成した新校舎内を見学していただける「内覧会」も予定している。

「多度学園」の校舎に通うことになる子どもたちに対しては、安心して期待に満ちた気持ちで、学校生活を迎えられるよう、開校前には、「多度学園」への「体験会」や、新たにスクールバスで通学する子どもたちのために、バス「試乗会」の開催も計画している。市内初となる施設一体型小中一貫校である義務教育学校「多度学園」の竣工式典、地域との繋がりをもった新たな学び舎のお披露目や、開校に向けた見学会などを地区内はもとより、今後、新たな再編計画区域となる市民の皆さんにも義務教育学校についてご理解いただけるようなイベントを企画していく。

---

フォーラム新桑名　インターネット中継

**松田　正美**　都市経済委員会

**■幼児教育・保育における人材確保策は？**

**Q.現在、桑名市で特に不足している幼児教育・保育現場に特化した人材確保策は？**

A.公立保育所では、昨年度末に見込み以上の退職者などがあった。

また、保育ニーズの多様化などにより、現場保育士の仕事量や責任が増し、さらに医療的ケア児の受け入れや支援の必要なお子さんの増加により、専門知識を持つ公立保育所・幼稚園の保育・教育ニーズの必要性が増している。

こうした背景から、採用人数を増やし、採用方法も例年通りの募集枠に、年齢上限を引き上げた経験者枠２名を追加し、８名の採用を予定している。

また、保育士確保に向けては、保育士養成大学の公務員採用説明会に出向きPRを行ったり、保育現場のPR動画の作成や市内の高校のインターンシップの受け入れへの取り組みを進めて、より多くの方が桑名市で働いてもらえるよう取り組んでいる。

---

フォーラム新桑名　インターネット中継

**伊藤　真人**　総務安全委員会

**■「地理的優位を活かし、子どもを3人育てられるまち」に**

**Q.千葉県流山市では、緑を増やし、子育て支援の充実を図った結果、６年間人口増加率全国1位、10年間で約4万２千人の人口増に成功した。**

**桑名市は、工業団地の開発・商業施設用地の開発・住宅開発・道路整備の区画整理・街路樹の間引き等により、緑が減りつつある。流山市のように、緑を増やし、住環境の整備をし、子育て支援を拡充させて、人口増を図ってはどうか？**

A.本市では、全国初の取組となった選べる桑名子育てリフレッシュ事業や、県内初子ども医療費の高校生相当までの拡大等の施策を行っている。こうした様々な施策により、子育てしやすい環境を整え、市民サービスの向上を図ることで、中部地区で子育てするなら、桑名が一番と言って頂けるまちを目指していく。「他の自治体で効果のあった施策」については、関係各課とも連携し調査研究を進めながら環境整備を図っていきます。

---

無会派　インターネット中継

**柴田　理恵**　教育福祉委員会

**■学校給食費について**

**Q.令和７年４月から保護者が物価高騰分の半額を負担することになった理由と学校給食費そのものを無償化する考えはないか。**

A.学校給食法に材料費は保護者負担とされているので保護者負担。

**Q.しかし、学校給食法は自治体の補助を妨げるものではない。全国の自治体約30%が実施。暫定的にでも給食費を無償にしないか。**

A.市の内部で協議をした中で、半額ご負担いただくこととなった。

**■市内全域の小中学校再編について**

**Q.2022年実施のアンケート調査の問題２点に対する見解は①再編を７～８割が容認推進という結果は誘導的に作り出せるのは②この結果を９年間小中一貫校再編計画の市民の声として使用する点**

A.市民の考えを把握することを目的に実施。１つの指標とする。

**■六華苑の耐震工事について**

**Q.工事期間中、六華苑は閉苑することもあるのか。**

A.調査工事後、どこまでの耐震工事が必要か開苑できるか判断。

---

無会派　インターネット中継

**近藤　奈歩**　総務安全委員会

**■HPVワクチン接種に関するメリットデメリット等の周知充実化は**

**Q.HPVワクチンは子宮頸癌を予防できるワクチンという間違った認識を持った方が大変多い。厚労省のHPには HPVの中には子宮頸癌を起こしやすい種類のものがあり、ワクチンにはこのうち一部の感染を防ぐことができると明記されている。さらに、一生のうちに子宮頸癌になる人は１万人あたり約125人。子宮頸癌で亡くなる人は１万人あたり34人。厚労省HP内のHPVワクチンリーフレットにはHPVワクチン接種後に重篤な症状として報告があったのはワクチンを受けた１万人あたり約2～5人との記載。子宮頸癌は早期発見し、手術等の治療を受ければ多くの場合、命を落とさずに治す事ができる為、最も重要なのは早期発見の為の定期的な検診かと思われる。接種を考える本人がきちんと判断できるよう情報提供をお願いしたいが、周知の充実化に向けた考えはどうか。**

A.今後もHPVワクチン予防接種に関する正しい知識の周知啓発をし、対象となる方ご自身に選択していただけるよう努めていく。

---

無会派　インターネット中継

**永野　元康**　都市経済委員会

**■桑名市消防本部管内の消防組織・体制について**

**Q.消防職員数について、平成16年と令和6年で比較すると29名増の約1.13倍である。火災は減少傾向にあるが、救急件数は同年比約1.9倍あり、救急転院件数も同年比約2.49倍、対前年でも128件増加と依然高い状況である。救急ひっ迫アラートもこの2年半で116回発令されている。一方、各署所間の応援人数は令和4年度283名、令和5年度372名、令和6年度（2、3月未集計）260名であり、常態的に消防職員が不足しているのは明白ではないか？早期の消防職員増員及び西分署2隊体制、全隊4名体制にする考えは？**

A.早期の消防職員増員、西分署2隊体制、全隊4名体制は考えていない。現体制で問題ないと考えている。

**■入札監視委員会でプロポーザル方式の随意契約（伊藤市長就任以降190件、計348億円）があらかじめ審査案件から外れているのはなぜか？**

**Qそれはいつ誰が指示したのか？当委員に明確に伝えたのか？**

A.それぞれの委員会で、必要な審査が適切にされていると考える。

---

無会派（日本共産党桑名市議団）　インターネット中継

**多屋　真美**　教育福祉委員会

**■小中再編計画について**

**Q.今後、小学校区ごとの説明と話し合い、再度アンケートをとることや、子どもの意見も聞くべき。**

A.学校候補地、学校区割、再編順序などの説明会や意見交換、パブリックコメントを行い、計画策定をすすめる。再度のアンケートは考えていない

**Q.学校再編の最終的な決定権は、地域か？**

A.説明・話し合いののち、適切に市が判断する。

**■給食費について**

**Q.なぜ令和７年度より物価高騰分に対し保護者負担を求めるのか。保護者の負担軽減、給食費無償化への認識はなかったのか**

A.学校給食法では「材料費分は原則、保護者負担」としている。市は、保護者負担額を10年間据え置いてきたが、食材費高騰により、令和７年4月から保護者も一定額負担とした。しかし、全額保護者負担とするのは、保護者負担が大きいため、半額負担とした。

---

無会派　インターネット中継

**飯田　尚人**　都市経済委員会

**■水道の現在と今後について**

**Q.水道水のPFAS検出問題の経緯と桑名市の対策について**

A.令和2年8月から令和4年8月にかけて多度中部送水場で暫定目標を超える数値が検出された。令和4年の水質検査で数値低下が見られなかったことから給水を停止し、多度北部配水場に切り替えた。今後の対策は暫定目標値を超えた数値が検出された際には、給水の停止または飲用で使用しないよう広報を実施する。

**■公共施設の管理について**

**Q.市民が集う「まちづくり拠点施設」の管理状況について**

A.昨年度の修繕件数は63件発生し、水栓水漏れや空調修繕、消防設備維持修繕等である。今後の修繕計画は桑名市公共施設等総合管理計画を策定している。小規模の小破修繕については修繕の必要性や緊急性が高いと判断される修繕は出来る限り迅速な対応に努めていく。今後の施設の在り方を見据え、限りある予算の中で、安心で安全に施設が利用できるよう対応していく。

---

無会派　インターネット中継

**伊藤　惠一**　都市経済委員会

**■なるたか市長12年の総括・貯金が93.5億円？？その中身とは！？**

**Q.増は水道44億値上！国保13億増税他！隠れ含借金は2,586億に！？**

A.歳出抑制と歳入確保に取り組んだ結果、その様になっています。

**■なるたか市長が教育に介入する様になって不登校者数が激増！**

**Q.不登校小中学生102人が8年後の2023年度に3.8倍の384人に！**

A.要因は単一的ではなく複合的に重なっている事例が散見される。

**■桑名市におけるトップは住民！その使用人が議会。更に市長！**

**Q.市長の発言「トップセールス」、のトップとは誰か向います。**

A.「市長がトップ」。

**■本日ただ今この議場で播磨サッカー場の使用禁止を宣言すべき**

**Q.発ガン性の危険性が高いPFOS含人工芝は少年の命を守る？**

A.サッカー場は心身の健全な育成、健康の増進に寄与している。

**■借金による基金を証券投資し、市民に3.3億円もの損害を負わす**

**Q.その財政政策（基金運用）の方向性について伺います。**

A.今後も積極的な基金運用に取り組む。

---

無会派　インターネット中継

**伊藤　研司**　教育福祉委員会

**■何故『小中一貫校』に賛成するか、建設の方向性は**

**Q.これからは児童がたくさんの先生方と知り合う体制づくりが重要となる。また、先生方が授業等に費やす時間が多いため、先生方の負担を減らし、ゆとりの時間をもってもらうことが大切であり、そのためにも小中一貫校は必要だと考える。その小中一貫校の建設に関連して2022年6月議会での三重県桑名庁舎と桑名市役所の庁舎一体化という市長の発言は生きているのか。**

A.今後整備していく「小中一貫校」は、「地域の拠点」との構想ですので、市役所本庁舎整備の方向性は、県の庁舎機能との一体化も視野に入れた単独整備、新たな小中一貫校との一体整備、他の公共施設や民間施設への本庁舎機能の分散移転や、これらの手法の組み合わせなど、様々な構想が考えられる。財政的な裏付けも必要。先ずは、市役所本庁舎の在り方検討を喫緊の課題と捉え、全庁挙げての検討に着手する必要があると考えている。検討する中で、公共施設のあるべき姿も見えてくると見込んでいる。

---

結　インターネット中継

**市野　修平**　総務安全委員会

**■（稼ぐ自治体に向けた）ふるさと納税の推進**

**Q戦略的な人事異動は**

**本市のふるさと納税の寄付額は4.6億円。伸びる余地がある。全国トップクラスの175億円の寄付を集める大阪府泉佐野市は、部長8年、課長13年と在籍年数が長く、業務の専門的知見を有しているのが特徴。2～3年でジョブローテーションしていては身につかない。寄付額増加のため、戦略的な人事異動を考えてはどうか。**

A.専門職員の配置の必要性を検討していく。

**Q.返礼品開発に向けた事業者への支援は**

**本市の返礼品は約430品。泉佐野市は約3700品で、そのうち売れるのは100品程度とされている。泉佐野市は返礼品を「ないものはつくる」の精神で事業者と連携し積極的に返礼品開発しており、クラウドファンディングで集まった寄付を事業者への補助金に充てる制度を構築している。本市も導入してはどうか。**

A.有効な手段であると認識しており導入を検討していく。

---

結　インターネット中継

**服部　喜幸**　教育福祉委員会

**■入札契約制度の一つであるプロポーザル方式の透明性向上について**

**Q.プロポーザル事務の透明性向上のため、プロポーザルガイドラインの公表と改正が必要であると考えるが市の考えは。**

A.本年度内にガイドラインを改正し公表する。事業者選定の一層の透明性確保に向け、審査の過程や結果など公開の対象及び基準を定める。また、案件ごとに適切な募集期間となるようにする。

**■防災の日常化に向けて**

**Q.避難に関しては、災害の種類や災害前・後で避難場所や避難するタイミングが異なり市民にとって分りにくい。避難に関して市民への分かり易い案内について市の考えは。**

A.現在国では新たな南海トラフ地震被害想定に取り組んでいる。これの公表後に発行する防災マップには、災害リスクに応じた避難行動も分かり易く記載する予定。なお、広報くわなへの掲載や自主防災訓練、防災講話等の機会を利用して、様々な防災対策の周知・啓発に努めているところである。

---

結　インターネット中継

**渡辺　仁美**　都市経済委員会

**■こどもの成長を見守る体制は**

**Q.発達支援に対する学校との連携や連携促進に向けたシステム導入の考えは**

A.発達障害のある子どもへの支援には部局を超えた連携が重要で、現在も子ども未来部と教育委員会が情報共有を行っている。ICTシステムを導入することにより進級・進学時の引継ぎが円滑になり、適切な支援につながると考えているため、今後県や関係機関と連携し早急に導入を検討していく。

**■誰一人取り残さないまちに**

**Q.離婚前後支援の取組みと今後の予定は**

A.一人親相談は令和５年度310件、内離婚前後に関する相談は76件、約25%受けている。昨年度は「女性のための法律セミナー」を開催し、離婚に関する法的アドバイスを提供。しかし相談に繋がっていない方が依然多いと考え、市ホームページの改善等、相談窓口の周知を進め、庁内連携して必要な支援が届くよう取り組む。

---

結　インターネット中継

**成田　久美子**　総務安全委員会

**■新しい時代を生きる力を育む教育支援について**

**Q.企業と連携したICT教育への取り組みについて**

A.企業の先端技術を教育に活用する実証実験「AR昆虫採集」を深谷小学校にて実施した。今後も定期的な意見交換を行い、未来を拓く創造性を高められるよう、教育活動に取り入れていく。

**■水の安全・安心について**

**Q.水道事業における人手不足の解消と人材育成強化の取組みは**

A.技術者不足の中、持続可能な水道事業を目指し、デジタル技術の効率化と民間活力導入を進め、資格取得や研修を依頼している。

**■単身世帯や身寄りのない高齢者支援について**

**Q.エンディングノートの活用状況と今後の取組みは**

A.誰もが最期を安心して迎えられるよう生前の意思を確認するACPシートを活用している。今後公民連携でエンディングノート作成を進め、さらに終活登録事業の実施を検討し安心に繋げていく。

---

結　インターネット中継

**冨田　薫**　都市経済委員会

**■「安定した財政基盤の確立」について不交付団体となる可能性は**

**Q.10年前は財政状況が非常に厳しく、補助金削減や施設転換などの改革が行われ、市民からの反発もあった。大きく行財政改革は進んだと思うが、桑名をさらに進化そして深化させるために財政基盤の強化が必要。三重県で一番財政状況が悪かった桑名が、10年後に不交付団体となるその可能性についてお聞きする。**

A.独自の政策や施策を実現するには安定した財政基盤が必要、地方交付税に依存する現状から脱却することが重要である。現状、13社の企業誘致により総投資額約240億円が見込まれ、不交付団体になるにはさらに70億円の税収増が必要であり、約5,000億円規模の投資が必要で半導体や情報インフラといった大規模な産業の誘致が鍵である。桑名市は現在47ヘクタールの産業用地を持ち、加えて開発を進めている産業用地を含め、約148ヘクタールの用地を確保できる。これにより、大規模な企業誘致もあり得ると考える。この目標を10年後に実現可能な「夢」と捉え、取り組んでいく。

---

## 議員別表決結果

議員別の表決結果はホームページで公開しているよ！誰がどの議案に賛成、反対しているのか一覧で見られるようになっているからチェックしてみてね！

**令和６年第４回定例会**

令和６年 12 月５日採決分　令和６年 12 月 25 日採決分

**令和７年第１回定例会**

令和７年２月 19 日採決分　令和７年３月 21 日採決分